



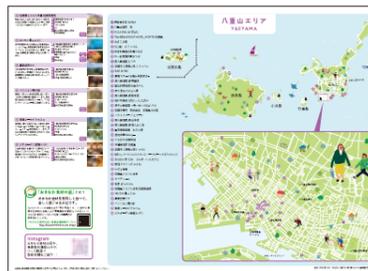
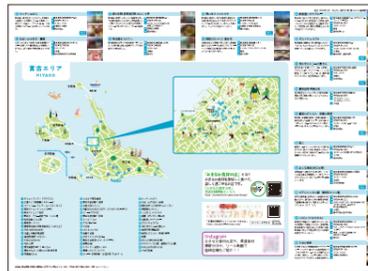
アカウント名：
@okinawasyokuzainomise
投稿内容：新規店舗の募集案内
イベント情報 等
*フォロワー数：
1,580人（2025年3月時点）



②ガイドブックの制作

「おきなわ食材の店」のPRツールとして、定番である小冊子を今年度も発行。昨年度と同様に新規登録店舗の特集ページを設け、今年度新たに認定された44店舗の紹介を行った。また、離島掲載分を抜粋したガイドマップ（宮古版・八重山版）の制作も行った。さらに、総合版は電子ブック化し、誌面と同様の情報がオンラインでも得られるようにした。

発行部数：ガイドブック 10,000部
ガイドマップ（宮古版・八重山版）各2,500部
配布場所：「おきなわ食材の店」登録店舗、商工会・観光協会、各市町村・農業団体、県内宿泊施設・道の駅・JAファーマーズ・直売所・県立博物館・美術館、等



③「おきなわ食材の店」WEBサイト開設

実施概要

「おきなわ食材の店」の検索をより利便性の高い仕様にするため、公式WEBサイトの開設を行った。

◆公開日：2025年1月14日～

◆URL：

<https://okinawashokuzainomise.kuwachii-okinawa.com/>



④ホームページの更新

ニュースページにおける「おきなわ食材の店」イベントの情報発信や、「おきなわ食材直売所情報」の情報収集、ページへの更新・追加掲載も行った。



⑤雑誌媒体への出稿

県内の食・暮らしに意識の高い層に向け、雑誌「おきなわいちば」にて、「おきなわ食材の店」の制度や店舗、取り組みについて紹介を行った。



vol.86（2024年9月5日）
「おきなわ食材の店」
事業のPR



vol.87（2024年12月5日）
新規登録店舗の
紹介



vol.88（2025年3月5日）
ガイドブック（冊子・電子版）
紹介

⑥登録店舗アンケート

「おきなわ食材の店」事業で実施してほしい取り組みについて、下記の意見が多く聞かれた。

[最も回答が多かった意見]
メディアを活用した事業PR 22.6%
[続いて多かった意見]
SNS等を活用したデジタルプロモーション 21.4%

⑦認知度向上・利用促進につながるキャンペーン等の開催

実施概要

◆募集期間：2024年12月1日（日）～12月27日（金）

◆募集方法：インスタグラム公式アカウントにて告知& 広告配信（広告費：50,000円）

◆ターゲット：国内全域/18歳以上

◆賞品①：対象店舗で使えるチケット（10名様）

◆賞品②：おきなわ食材の店 人気商品の詰め合わせセット 3,000相当分（10名様）

令和6年度 沖縄県農林水産部 流通・加工推進課

「おきなわ食材の店」等における 県産食材利用拡大事業報告書

概要版

令和7年3月

光文堂コミュニケーションズ(株)



沖縄県農林水産物
キャラクター イーサーくん

事業概要

沖縄県では、飲食店における県産食材の利用促進、地産地消推進を図るため、県産食材を積極的に活用している飲食店等を「おきなわ食材の店」として登録する制度を平成20年から実施しており、令和7年3月末現在で433店舗が登録されている。

これまでの取り組みを踏まえ、「おきなわ食材の店」制度を周知するためのPR強化、登録店舗が県産食材の利用を拡大できるような取り組みを実施し、「おきなわ食材の店」の活性化と地産地消推進を目指す。

「おきなわ食材の店」について

沖縄県では、県産農林水産物を積極的に活用し、その普及につとめる県内飲食店を「おきなわ食材の店」として登録を行い、登録飲食店を県のホームページ、広報誌、地産地消関連イベント等で紹介し、県産食材のすばらしさを伝える取組を実施している。

◎登録の対象店・基準

「おきなわ食材の店」の登録対象店は、県内で1年以上営業している飲食店及び宿泊施設、料理品小売店（仕出弁当屋・惣菜屋）で、県産食材を積極的に活用する店舗。

登録には次の要件を満たしていることが必要。

①年間を通して、提供しているメニューの半数以上が地産地消メニューであること。

②地産地消メニューとは、県産の食材を半数以上使用したメニューとする。但し、特定の農林水産物を専門に取り扱う店舗においては、その専門に扱う農林水産物が県産食材となるメニューであること。なお、加工品、調味料は、食材数に含めないものとする。

地産地消メニューとは.....

例《魚の唐揚げ定食》

魚の唐揚げ
魚 ○ 県産

味噌汁・サラダ
タマネギ × 県外産
大根 × 県外産
キャベツ × 県外産
ニンジン ○ 県産

農林水産物5食材のうち2食材だけが県産なので、地産地消メニューとしては認めない

料理の1食材を県産食材に変える、もしくは、モズクの酢の物など県産食材を使ったメニューを1品加える

地産地消メニューとなる

令和6年度 新規登録店舗の募集

「おきなわ食材の店」制度への理解促進を図るため、制度の概要や登録特典を記載した「登録ガイド」を作成し、雑誌媒体へ掲載実績のある店舗や地域イベント等に出店経験がある店舗、各市町村の商工会・観光協会を通じて、書類の郵送やテレアポ、訪問にて案内を行った。また、ファーマーズや道の駅等、親和性の高い施設へのツール（ポスター・チラシ）掲出による募集案内も合わせて実施した。昨年度同様、web受付を行うことにより、申請手続きの効率化を図った。今年度は**44店舗**が新たに新規登録店舗として認定された。



令和7年3月末時点において県内各地で

433店舗の登録となりました。



「おきなわ食材の店」登録特典

①「おきなわ食材の店」の登録証及び楯、ノボリを交付



- ②店頭やチラシなどに「地産地消マーク」の表示ができる
- ③おきなわ食材の店のPRツールを提供します。
- ④県が開発する「おきなわ食材の店」サイトやSNS、広報誌等で、店舗の情報を発信します。
- ⑤県が実施する「おきなわ食材の店」等をPRするイベントや取り組みに参加できます。

地産地消シンポジウムの開催

名称：令和6年度 沖縄県地産地消シンポジウム
 日時：令和6年11月6日(水) 13:30～15:30 (開場 13:00)
 会場：沖縄県立博物館・美術館 講堂 (定員200名)
 参加者数：107名 (参加無料/事前申込制)

実施概要：沖縄県では地域で生産された農林水産物を地域で消費する「地産地消」運動を展開し、県産農林水産物の生産と消費の拡大に向けた様々な取組みを推進している。今回のシンポジウムでは、新しい地産地消の形としてICT（情報通信技術）を活用した生産方法や今後の可能性について紹介する。また、トークセッションでは生産者や飲食店関係者を交え、「自分らしさ」を軸としたおきなわ食材の魅力等について意見や考えを共有する機会とする。



内容：1. 基調講演

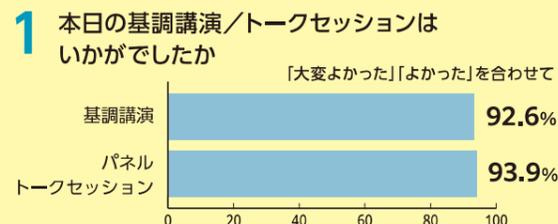
「ICTでつなぐ沖縄型地産地消の未来」
 加賀 武史氏 沖縄セルラーアプリ&マルシェ株式会社 執行役員常務

2. トークセッション

「自分らしさ」でつむぐ地産地消
 ゲスト ● 與儀 喜美江氏 さし草屋 joy工房&茶屋 (おきなわ食材の店 登録店)
 ● 林 昌平氏 まんまるファーム
 ● 加賀 武史氏 沖縄セルラーアプリ&マルシェ株式会社
 司会進行 ● 玉城美香氏 野菜ソムリエ上級プロ、アスリートフードマイスター



地産地消シンポジウム 来場者アンケート



イベントの開催 (全3回)

登録店舗の紹介や加工品の販売を目的に、県内各地のイベントに出店した。また、花と食のフェスティバル2025への出店をはじめ、店舗自らが販売する機会を設けたことで、販売機会の創出や事業PRに繋がった。

実施内容：登録店舗による対面販売、商品PR、事業PR、ガイドブック配布など

開催日時：来場者総計*：3,200人

2024年 11月24日(日)	瀬長島GOOD MORNING FESTA	4店舗	300人
12月14日(土) 15日(日)	OKINAWA FOOD FREA MARCHE in Naha	3店舗	500人
2025年 1月18日(土) 19日(日)	おきなわ花と食のフェスティバル2025 奥武山公園	5店舗	2,400人

*来場者数はガイドブック配布数・売上等をベースに算出

- 周知方法：●くわっちーおきなわHP (ニュースページ) への掲載
 ●「おきなわ食材の店」Instagram・Facebookにて店舗募集・開催案内
 ●イベントスケジュールポスター、出店店舗案内の掲出による周知



出店説明会&出店セミナー

イベント出店における注意点や必要な申請関連の説明を行うことで安心・安全な出店につなげるとともに、事例等を交えながら、イベント出店や商品開発における成功のヒントを共有する機会とした。

また店舗間の情報交換・意見交換の場にもなり、花と食のフェスティバル出店に際しての要望等をヒアリングする機会にもつながった。

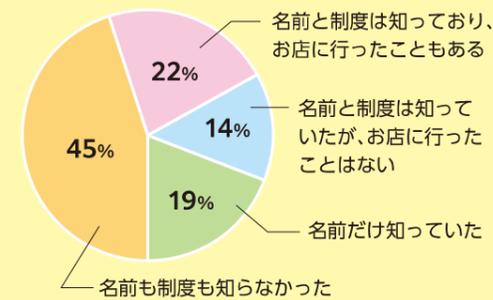
開催日：2024年11月7日(木) 14:00- 会場：光文堂コミュニケーションズ多目的ホール

講師：下地友香 (office SHIMOJI)

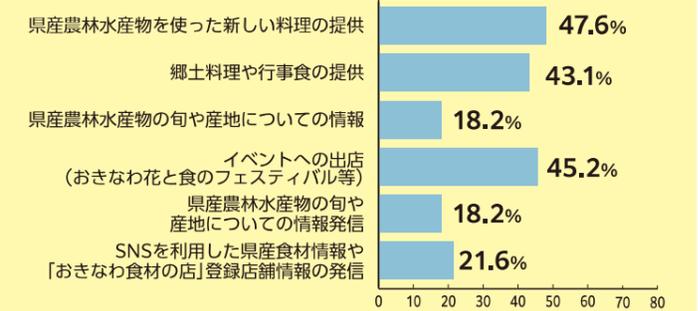
「おきなわ食材の店」イベント 来場者アンケート

アンケート回答者数：82名

1 「おきなわ食材の店」制度をご存じでしたか



2 「おきなわ食材の店」に期待することはありますか



県民や観光客に向けたPR強化

①「おきなわ食材の店」公式SNSアカウントの運用・情報発信

前年度に引き続き、「おきなわ食材の店」Facebook・Instagramのアカウントを運用。また、今年度はリアル動画による新規店舗の紹介や、ガイドブックのPR広告配信等を行った。



アカウント名：
 @okinawashokuzainomise
 投稿内容：新規店舗の募集案内 イベント情報 等
 *フォロワー数：
 774人 (2025年3月時点)

